

第7回高知県立学校の校名に関する検討委員会 会議録

1 開会及び閉会に関する事項

開会 平成28年11月8日(火) 18:30
閉会 21:00

2 場所

高知共済会館 3階「大ホール 桜」

3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	委員	池 康晴
	委員	池田 あけみ
	委員	稲田 知江子
	委員	川北 恭弘
	委員(会長)	西郷 和彦
	委員(副会長)	時久 恵子
	委員	西尾 洋之

4 高知県教育委員会事務局の出席した者の氏名

高知県教育委員会	教育長	田村 壮児
高知県教育委員会事務局	教育次長	北村 強
〃	教育次長	藤中 雄輔
〃	教育次長	永野 隆史
〃	高等学校課課長	高岸 憲二
〃	高等学校課企画監(再編振興室長)	坂本 寿一
〃	高等学校課課長補佐	高野 和幸
〃	高等学校課再編振興室チーフ	松井 竜太
〃	高等学校課指導主事	野中 昭良

5 傍聴

44名

6 内容

【開会】

司会	<p>定刻となりましたので、ただ今から「第7回高知県立学校の校名に関する検討委員会」を開催いたします。</p> <p>それでは、本日ご出席いただいております、7名の委員の皆様をご紹介させていただきます。</p> <p>まず、池康晴委員でございます。</p> <p>池田あけみ委員です。</p> <p>稲田知江子委員です。</p> <p>稲田です。よろしく願いいたします。</p> <p>川北恭弘委員です。</p> <p>当委員会の会長である、西郷和彦委員です。</p> <p>同じく副会長である、時久恵子委員です。</p> <p>西尾洋之委員です。</p> <p>委員の皆様、本日はどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>次に、本日の日程について説明させていただきます。次第をご覧ください。</p>
----	--

本日は、前回の協議を踏まえまして、各校の学校代表の方から校名候補の絞り込み方法及び校名に関して意見聴取を行い、その意見も踏まえまして、校名候補の絞り込み方法について協議・決定をしていただくこととなっています。

次に、配布資料について確認させていただきます。

本日の次第が表紙になっているホッチキス止めの25ページまで印刷された資料が1部と、受付でお配りさせていただいた「本検討委員会の傍聴要領」が1部となっております。

不足している資料がございましたら、スタッフまでお知らせください。

次に、傍聴に関してのお願いをお伝えいたします。

本検討委員会では、傍聴要領のとおり、私語や拍手など会議の支障となる行為をしないようお願いいたします。

協議中にこのような行為があった場合、会長が注意し、なお改められない場合には、申し訳ございませんが退場していただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

また、会議中の録音及び撮影については、第1回の会議の際に要望があり、協議の結果、この会議では報道関係者以外の傍聴の方の、録音及び撮影は控えさせていただくようお願いをしておりますので、ご理解、ご了承をよろしくお願いいたします。

それでは、議事に移らせていただきます。ここからの進行は、会長にお譲りします。よろしくお願いいたします。

【第6回協議内容の確認について】

会長	<p>本日もよろしくお願ひいたします。</p>
	<p>それでは、まず議事に入る前に、前回、第6回検討委員会の概要等を事務局の方から報告をお願ひいたします。</p>
企画監	<p>お手元の資料の3ページ、参考資料1をお開けいただけたらと思ひます。この参考資料1が前回の検討委員会での議論の概要となっております。</p>
	<p>最初の(1)に公募結果を説明とごさいますが、委員にご説明した際に、県民の皆さまにも結果が分かりやすいようにということで、応募数順による資料をホームページに掲載するようにという依頼がございましたので、10月24日(月)に当課のホームページに掲載したことをご報告させていただきます。</p>
	<p>なお、資料の5ページから参考資料2-1・2とごさいます。それが応募数順による資料となっておりますので、またご覧いただけたらと思ひます。</p>
	<p>次に3ページに戻っていただきまして、(2)の校名決定スケジュールにつきまして、本日の会議で学校代表者の皆様に校名候補の絞り込み方法、それから校名候補についてのご意見をお伺いしたうえで校名候補の絞り込み方法を決定し、次回の会議で校名候補を決定していただくということを確認いただきました。</p>
	<p>また、(3)の絞り込みの方法について意見交換をしていただきました。</p>
	<p>そのうち、学校関係者の皆様の絞り込みへの関わり方につきましては、高吾地域拠点校につきまして、学校関係者同士で話し合いをしていただくということになりました。それから、新中高一貫教育校につきましては、当委員会では絞り込みを委員の皆さまに行っていただくということになりました。</p>
	<p>それから、次の資料の4ページをお開けいただきまして、ウとエにごさいますような、絞り込みを行う際の案を提出するとすれば、いくつ提出するのとか、また、順位付けをして提出するのといった議論がございました。また、オにごさいます教育委員会への報告書を提出する際に、優先順位をつける場合のご質問がございました。以上の内容をご確認いただきまして、この後の協議につなげていただけたらと思ひます。</p>
	<p>なお、前回の会議で他県の絞り込みの後の候補数についてのご質問がございました。これにつきましては、後ほどご説明させていただきますと思ひます。</p>
	<p>参考資料1、2-1・2の説明は、以上です。</p>
	<p>前回の当検討委員会で協議した内容及び依頼しました資料の公開についての報告でしたが、委員の皆様、これでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>

会長	<p>ご了承いただいたということで、次に進めたいと思います。まず、確認しておきたいことを、私の方から申し上げさせていただきます。</p> <p>本日の会議では、先ほどもお話がありましたように、校名候補の絞り込み方法について協議、決定することになっております。</p> <p>その前段階として、前回の第6回検討委員会におきまして、大枠として資料3-1・2、23、24ページをご覧ください。</p> <p>絞り込み方法について、高吾地域拠点校につきましては、両校関係者に校名候補の絞り込みについて話し合ってもらい、その結果を聞く。その内容を踏まえて検討委員会で校名候補を協議・決定する。</p> <p>次の24ページにいきまして、新中高一貫教育校ですが、確認事項として、両校の話し合いは難しいという両校関係者らのご意見から、第7回の検討委員会で両校関係者のご意見をお聞きしたうえで、検討委員会において校名候補の絞り込みを行い決定する。</p> <p>その下には、先ほど報告のあったいろんな視点、論点が書いてございます。このことで、この議事を進めることでよろしいでしょうか。</p>
各委員	(了承)
会長	ご了承いただいたということで、では早速、関係校の関係者からお話を伺いたいと思います。

【学校代表からの意見聴取：須崎高校】

会長	各校の学校代表の皆様には、20分以内を目途にご発言いただき、その後、委員との質疑応答としたいと思っておりますので、それでよろしいでしょうか。
委員	(了承)
会長	<p>それではまず早速ですが、須崎高等学校の学校代表者の皆様からお願いしたいと思いますので発言席の方にどうぞ。どうぞおかけください。</p> <p>では、よろしく申し上げます。</p>
須崎高校 保護者代表	<p>皆さん、お疲れ様です。須崎高等学校PTA会長です。この度は絞り込み作業の中へ、工業さんとの話し合いというところで皆様のご了承を得まして話し合うこともできました。大変ありがとうございました。</p> <p>それと、県内外の方の皆さんの応募をいただきまして、この場をお借りしましてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それで、須崎高等学校としまして、先日工業さんとの話し合いの結果、結論から申しまして校名候補2案、3案でなくて1つ挙げさせてもらっています。「須崎総合高等学校」です。これは普通科、工業科、教養とかいろいろ定時制もござ</p>

	<p>います。そういった意味で、総合的に、トータル的にという 意味合いが強いというところで判断をいたしております。</p> <p>ただ、1校だけの結果に至ったわけですが、これから先、 委員の皆さんが絞り込み作業に入っていく中で、やはり別の ところというのひょっと出てきた場合に、それはそれで私 どもも意に沿うつもりでございます。ただ、そのときの条件 と言いますか、ご配慮いただきたい点が2点ございまして、 それを言わせてもらいます。</p> <p>まず地名、須崎という地名を頭に入れてもらいたいという ところで、これはこれまで須崎工業、須崎高校ということで、 高吾地域の中心であります須崎の名前、名称をこれまで付け ておりました。地域の方にも須校（高）という愛称で親しま れて、そういった意味から須崎という地名を入れてもらいた いと思います。</p> <p>もう1点は、うちの方は須崎総合高校なんですけど、須崎 の次にくる言葉ですね。これ応募の中にもございましたけど、 地域名は除いてもらいたいというのが2点目でありま す。これは応募の中でも須崎山手高校とか須崎新荘高校がご ございましたけど、そしてまた黒潮なんかもございました。余 りにも地域を限定するというか、地域を指すという意味合い が強いのではないかとこのところで、須崎の次には地域名は 除いてもらいたいというのが2点目であります。黒潮の方に 関しましては、西部の方に黒潮町もございまして須崎と黒 潮が混同するところがございまして、地名は除いて もらいたいと。</p> <p>そういったご配慮をお願いしたうえで、須崎高校の報告と させていただきます。ありがとうございました。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。何か委員の方からご質問は ありますでしょうか。</p>
委員	<p>この1校にされる前に、例えば関係者同士の中で何案か他 にも校名候補としては、話し合いの俎上にのぼったんです か。</p>
須崎高校 保護者代表	<p>いや正直、一度しか全体で話し合うことができなくて、そ の須崎総合というのが一番多く出ました。</p> <p>あとは、先ほども言いましたように、ひょっと別の適切な 名前が候補に出てくるのであれば、それに従っていくという ところでございます。</p>
会長	<p>他に何かご質問はありますでしょうか。 よろしいですか。 それではどうもありがとうございました。</p>

【学校代表からの意見聴取：須崎工業高校】

会長	<p>では、続きまして須崎工業高等学校からのご意見をお聞きしたいと思います。学校代表者の皆さんよろしく願いいたします。</p>
須崎工業高校 保護者代表	<p>須崎工業高等学校PTA会長です。よろしく願いします。</p> <p>先日、須崎高校様と2校合同校名検討委員会議を行いました。よって、先ほどお話しがあったことと重複すると思いますから、ご了承ください。</p> <p>その後、須崎工業PTAでもう一度校名検討会議を行った結果、校名を決定するにあたっていくつかの内容を発表したいと思います。</p> <p>1つ目、統合して新しくスタートする学校であるので、新しい校名を検討してもらいたいです。</p> <p>2つ目、新しい校名を希望するのですが、両校の頭文字でありこの地域の地名でもある須崎という文字は残してもらいたいです。</p> <p>3つ目、須崎〇〇高等学校のような形で工業科、普通科両方イメージできる校名を検討してもらいたいです。</p> <p>4つ目、最後に以上のことに併せて、新しくスタートする学校が工業科は6つの専攻を持ち、普通科は進学コースやその他の様々な学びができる総合的な学校になっていくことを考えると、須崎高校様と同じですが、須崎総合が校名候補としては適当ではないかということが私どもの希望です。</p> <p>検討よろしく願いします。以上です。どうもありがとうございました。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。何かご意見はありますか。</p>
各各員	<p>(特になし)</p>
会長	<p>それでは、同窓会からお願いします。</p>
須崎工業高校 同窓会代表	<p>今PTAの代表の方が言ってしまいましたので、ほとんどありません。同窓会としては、やはりもともとが単独で存続してもらいたいという意見がありました。要望書なんかも出しました。実は今、須工、須崎工業という名前を残してもらいたというのは、これは一番なのですが、もうそれは今更どうのこうのはありません。これはね、統合ですので。今もPTAの方が言いましたように、やはり新しい学校として、両校の須崎という地名と言いますかね、それはやはり頭に要るだろうと。そしてまた、工業それから普通科という形で統合しますので、やはり総合的な学校というか、内容の学校ということで、先ほども言いましたような、須崎総合というような形がいいのではないかなという話がありました。</p> <p>その他はいろいろ話もあったと思いますが、私一応資料</p>

会長	<p>をもらっていますので、それを重視しないといきませんので、以上で同窓会としての意見を終わらせてもらいます。</p> <p>どうもありがとうございました。では、ただ今のご意見をお聞きして、何か委員の方からご質問はありませんでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
各委員	(特になし)
会長	どうもありがとうございました。

【学校代表からの意見聴取：高知西高校】

会長	<p>それでは、高知西高等学校の学校代表者の皆さまにご意見を述べていただきたいと思います。よろしく願いをいたします。</p>
高知西高校 校友会代表	<p>皆さん、このような機会をいただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>それではまず、高知西高等学校の意見発表につきましては、保護者代表のPTA会長の方からお話しをさせていただきまして、その後、私の方からの説明という形で進めさせていただきたいと思っております。</p>
高知西高校 保護者代表	<p>PTA会長でございます。皆さま今日は本当にありがとうございます。</p> <p>まず、今回の公募を受けて、このようにたくさんの方々が高知西高校の存続を願っているという事実を、まずこの場にいる全員で確認していただきたいと思います。高知西7,924でございます。</p> <p>私たちは今回この校名問題において、署名を通じて県民の意見の掘り起こしに努めてまいりました。ありがたいことに、この検討委員会において県民の意見を尊重し、広く聞いてみればどうかとのご意見がございました。その結果、この問題に関心を持ってくださった方々のご意見が、このようにたくさん集まりました。公募に参加してくださった皆さんが、決して卒業生の感傷的な思いだけで、高知西を応募したのではないということは、理由欄を読んでいただければ明白だと思います。SGH（スーパーグローバルハイスクール）に認定された実績。新たに中高一貫教育校になるということへの期待。皆さん、様々な理由を持って高知西を応援してくださいました。</p> <p>そうです。まさしく新たな中高一貫教育校が高い理想を実現していくためには、高知西の伝統と実績が必要なんです。統廃合の度に、今までの実績と伝統をすっぱり切り捨てていけば高知県の県立高校は一握りの伝統校とその他大勢の新設校ばかりになってしまいます。そんなことでよろしいのでしょうか。</p> <p>大事なことなのでもう一度言います。一握りの伝統校とそ</p>

高知西高校
校友会代表

の他大勢の新設校ばかりです。伝統はいくらお金を積んでも買えません。そのことに思いを馳せていただきたいと思います。高知西高校の名前を残していただければ、必ずや新中高一貫教育校は、今までの西高を上回る実績を残す進学校として、躍進していくものと私どもは確信しております。

私たちは既に未来を見据えております。今回の票数を集めました校友会、PTA、国際交流推進会、この3つの組織のメンバー、そしてこの機動力は、新中高一貫教育校の学校づくりに必ずやお役に立てると思います。皆さんどうぞよろしくご査証くださいませ。ありがとうございました。

それでは、私の方から3点程補足としてお話をさせていただきます。

まず1点目は、先ほど濱田会長からありましたこの結果、応募数に関してです。中高一貫教育校に関しましては、合計で8,559件、このうち高知西が7,924件、約91%。西という1字が187票、これを合わせますと8,111件のほとんど95%ほどの方々が高知西、あるいは西という校名を応募してくださいました。

また、校名の案としましては129案、合計でありました、今回、この新しい中高一貫教育校に関する感心の高さというのが表れていると思います。しかしながら、やはりこれまで私どもが守ってきました高知西という校名に対する支持が圧倒的に多いというのは、大変うれしい限りでございます。

そこで、こういった多くの支持が集まった背景というのを少し考えてみましたが、これは卒業生の愛着や思い出、誇り、これだけではなく在校生を含める方々、また将来高知西高校を選びたい。そして高知西高校で勉強したいというお子さま方が増えた、保護者の期待、将来に向かっての高知西に対する大きな期待があると思います。

そして、この結果、内容につきましては、校名の案しか出ておりませんが、多分市内全域、あるいは県外、そして何よりも鴨部地域を含めた地元の皆さん方のご支持もあつたんじゃないかというふうに思います。

この9月1日から30日までの1カ月の期間中におきましても、やはり地域の住民の方々から頑張っねとか、あるいはどうしてこんなふうになったのかというような質問、あるいは声援をいただきました。そして、お話をさせていただきますと、納得して「それやったら、やっぱり地元の学校、高知西という校名を残したいね。私らも応援するよ」という、そんなありがたいお言葉をいただきました。60年の歩みが、地域の中にやはりしっかりと根を張った、そして日々の学生達の暮らしぶり、行いがやはり地元の皆さん方に評価されているんじゃないかなというふうに、大変うれしく思ったところではあります。

そして、この8,000人近い7,924という票数と言いますか、支持を集めた機動力と組織力だと思います。これは、卒業生、在校生だけの数ではありません。やはり西高を応援して下さる方々も含めた結果としての数でございます。

やはり今回、校名、そしてその理由、住所、氏名等を非常

に煩雑な応募様式でございましたけれども、それを敢えて書いていただいたということは、それだけ高知西高校を応援しておるという意味の表れだというふうに考えています。そういうことを含めまして、これから学校への愛着ということだけではなく、高知西高校を応援するんだという、そういう意思の表れだというふうに考えています。これから、こうした実績につきましては、先ほどPTA会長が申しあげましたように、中高一貫教育校としてスタートする、高知西中学校、あるいは高等学校に対してより大きな力というふうに思います。

この結果に対するまとめといたしまして、やはりこの検討委員会の委員の皆さん方が、広く県民の皆さん方にこのことをお知らせしようというふうなお話の中で、県教育委員会の方がいろいろな媒体を使っての広報をしていただいたことが、本当に関心を引き起こして、このような結果になったというふうに思います。その点につきましては、改めてお礼を申し上げたいと思います。

次に2つ目といたしまして、校名についての思いということ若干述べさせていただきます。今回の件につきましては、それぞれの対象校につきまして、やはり校名というものに対する思いが非常に強くあります。学校名というのは、個人の名前と同じようにその学校の歴史を重ねた、そして個性を表すものだというふうに思います。これが簡単に変わるといことは避けたいというのは万人の思いではないかというふうに思います。先ほど申しましたように、高知西という学校に対する愛着は在校生、卒業生、そしてこれから高知西中学校、高等学校で選ぶ子どもたちに対する責任でもあると思います。そして、これから高知西を受験しようと、入学しようとするお子さんに対しては期待するものとしての校名であるというふうに思います。

今、高知西高等学校はSGHということで、探究型という新しい取組、そして高度な英語運用能力を高める、そういった取組をする大きな期待が求められていると思います。

こんなふうに高知西という校名には、たくさんの思いが込められています。前回、お話をする機会をいただきましたときに、単に県立高校の学校名はそれぞれの関係者だけのものではなくて、高知県民全体を財産だというふうに思っています。高知西という県民の財産を大切にしたいというふうに思います。

それから3点目、最後でございますが、これから中高一貫教育校としての役割、あるいは県教育委員会が作成しました振興計画に対する思いについてのことを述べさせていただきます。

10月24日付けの日本教育新聞、これを読んでみますと、たまたま平成27年度からスーパーグローバルハイスクールに指定されました長野県の上田高校の歴史が載っておりました。ここも伝統校ならではのネットワークを生かしながら、オリジナルプログラムを通じて生徒にさらなる探究心と発信力の育成を目指す。そういう独自の取組をされているという旨の紹介がされています。やはり、高知西高校でもこの

	<p>S G Hに取り組んでおりますけれども、全体的なことも含めて総合的な取組をしていきたいというふうに考えているところです。</p> <p>振り返ってみますと、今こうしてこの場にいるんですけれども、本県の取組といたしましては、審議会、教育委員協議会が平成 25 年から立ち上がっております。長い長い月日をかけて今日に至って、再編振興計画を実りあるものにしようという努力がされております。振興計画の中にありますように、時代を担うグローバル人材の育成を目指して、大学進学に向けたより豊かな学力の定着を図るとともに、国際バカロレアの認定に向けた教育に取り組むなど、高度な英語運用能力や量的思考への表現力、コミュニケーション能力の育成にも重点的に取り組む、このことにより、本県におけるグローバル教育のトップ校、かつ大学進学への拠点校を目指すものであるというふうに掲げております。</p> <p>この目標に向かってやはり私たちは学校当局と力を合わせて、そして校友会、保護者と力を合わせて取り組んでいきたいというふうに思っています。こうしたことがありまして、これまでの S G H、そしてこれから I B の方に取り組んでいくんですけども、ぜひとも成功したいというふうに思います。</p> <p>あと、若干気になる点があります。それはどういうことかと言いますと、これまで県教育委員会あるいは学校がそれぞれ I B あるいは S G H に対していろいろな教育をしておると思っておりますけども、それが少しバラバラな展開、取組になっているんじゃないかというふうな感じがしております。いわゆるそのこれまでのそれぞれの取組、これを一つ一つ積み重ねながら進んでいく段階になってくると思います。これからは、これまでの取組を総合して、実践する時期、また県民の皆さまにもオープンにしながら分かるように実施する時期になってくるんじゃないかというふうに感じしているところです。</p> <p>このように、総合的にこれまでの実績を上回るためにも、校友会等も含めて全力で学校を応援するという、そういう意思も含めまして、今回お時間をいただきました私ども高知西高等学校関係者の意見コメントとさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>それでは、ただいまお聞きしたご意見に何かご質問があれば、よろしくお願いたします。</p> <p>何かございませんか。よろしいですか。</p>
各委員	<p>(特になし)</p>
会長	<p>質問がないようですので、どうもありがとうございました。</p>

【学校代表からの意見聴取：高知南中高校】

会長	<p>それでは続きまして、高知南中学校・高等学校からのご意見を代表の方からお聞きしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
高知南中高校 校友会代表	<p>高知南中高等学校校友会会長です。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員会にてこのような発言の機会をいただきありがとうございます。</p> <p>前回、この委員会で発言をさせていただいて、その発言の中でとても私たちが感じる疑問とか、いろんな思いというのを委員さんの方が発言されて、また取り入れていただいていますので、すごくありがたく思っています。</p> <p>校名公募の絞り込み方についてなんですけど、できれば委員さん一人につき、これと思う物を一つだけ選ぶというのは無理でしょうか。</p> <p>さすがに、各委員がこれっていうものを選ぶと、これ以上の絞り込みというのは難しいと思います。ただ、重なっているものは一つとして最大7候補ぐらいを県教育委員会の方に提出するという形で、その中から県教育委員会で決定していただくと。ただ、その決定方法に関しても、こういった開かれた会でもって、ただ単に委員会で候補がこれだけあって、県教育委員会としてはその中からこれを選びましたってということだけじゃなく、やはりどうい話し合いで、どういう過程でこういうものを選んだかということもオープンしてやっていただきたいというのが、お願いとしてあります。</p> <p>私がこういうことをいうと大変失礼なことなんですけど、なぜ1人が一つかっていうところなんですけど、仮に、前回3つ、それも難しい5つという話があったと思うんですけど、複数選んでいいというのと、やっぱりその選考基準というのがぶれるという言い方をすると非常に失礼な言い方かもしれないんですけど、これがいいというのを一つ選ぶのと、3つ選んでくださいと言われると、どうしても他の要因が入ってくるんじゃないかなと。</p> <p>例えば、今回校名公募の応募数という形で、このように順番付けで並んでおるんですけど、一つはすごく自分がこれやというものを選びます。次に、次は何を基準に選ぶかと思ったときに、これが支持を得ているからこれを入れると。ないとは思いますがやはりそういうものが、人間の中でも働くのかなと思うんですね。なので、1人一つという形を選んで、検討いただければと思います。</p> <p>それで、仮に「校名一つというのは無理です。絶対無理です。やっぱり複数候補を提出して、言われていたように1人3案、5案という形を出して点数でやっていく」という方法をとられるのであれば、2点ちょっとお願いがあります。</p> <p>非常に申し上げにくいんですけど、どうしようもない理由っていう、例えば、歴史とか伝統ということに関して、これはどうしようもないんです。私たちがそれぐらい前から、じゃあ学校を開設していたのかっていうと、そういうことではないと思うんですね。非常にそこを言われると何も言えなくなるというか、ただ、私たちが思っているのは、どこの学校も</p>

それぞれりっぱな歴史があると思うんです。そこは変わらないので、そういった視点から選ぶというのは避けていただきたい。

あと、2点目なんですけど、応募数が多いっていうことに関してなんですけど、この公募をするという時点で、公募数は関係ないという話もあったと思います。それで、どうしても公募数という形でいくと、統合というこれから再編計画というのが、この単発、南と西が、須崎高校と須崎工業がということだけで終わるのであれば、あれなんですけど、まだ先があるということであつたら、今度そういった統合の話が出たときに、結局数なのかと。そしたら、今後、数を集めにいくと思うんです。そうすると、今回のように本当にいい学校、いい校名を選ぼうという発想から、かなりずれてくると思うんです。そういうことも考慮いただいて、当初言われていたように数ではないと。やはり前回において選ばれた理由というところを皆さんが汲んでいただいて、選んでいただければというのが私の願いです。

数なんですけど、こういう言い方をすると非常に角が立つのですが、高知県は人口72万人おりますので、県民の支持を得ているというのもそういう観点からいくと、また、この話をするとき、これは全世界でということでは言われていたと思います。全世界で73億人以上おりますので、そういうことも汲んでいただきたいと思います。私の方からは以上です。

会長

ありがとうございました。

高知南中高
保護者代表

P T A会長です。よろしく願いいたします。

はじめに、この度は第7回の校名に関する検討委員会での発言をいただきまして、誠にありがとうございました。

さて、今回、学校名の公募を行い、その結果をもとに絞り込み方法と、それから校名候補についてということはこの場で関係者から聴取するにあたりまして、保護者会としてもとりまとめたものを発表・発言させていただきたいというふうに思っています。

今回の公募の結果として、新中高一貫教育校に関する公募に多くの方々からご意見があり、約150に及ぶ校名やそして延べ8,500に及ぶの方々のご意見を見ると、非常に県民の関心が高いということが感じ取られました。非常にありがたく思っております。

校名につきまして、私からこれまで高等学校再編振興計画が発表されて以降、県教育委員会の皆さま方や教育委員協議会の皆さま方と、多くの関係者と協議してまいりました。正直なところ、なぜ統合するのか、また統合について疑問、校名はどうするかなど、いろいろなご意見がありました。校名等については一度棚上げをし、本来の再編振興計画の一定の方向性が示された後、校名に関する委員会を開催し協議するとのご意見を受け、まずは教育委員協議会や関係者との協議の中で新たな中高一貫教育校として、というその内容と骨格を南中高の関係者は協議してまいりました。そして、一部

やむを得ないとしてもですね、一定の方向性が示され、本日の場に至っていると思います。

そこで、これまで協議または検討したことによって、再三再度委員の方々や関係者とも確認してきたことがあるんですけども、我々としては統合校は国際バカロレアの導入により、高い志を持ってたくましく行動し、地域や国際社会の発展に貢献できるグローバル人材の育成を目指す学校となること。またキャリア教育探究型学習、英語教育プログラムなど、高知県のグローバル教育を牽引し、世界に羽ばたく学校として期待しているところです。

また、これまでの教育委員協議会の中でも、グローバル人材の育成は間違いなく必要となり、ニーズが出てくるはずなのでそのときに先頭を切ってやっている学校がないとうまくいかないし、グローバルハイスクール自体のレベルが低いものになってしまう。また、むしろ我々のこれからの教育を考え、ニーズをつくっていくぐらいの努力をしていかなければならないこともあり、私たちはその内容を協議してきました。そして、社会ニーズはあると思うので、言われたように保護者や中学生に対して認められる学校にしないといけない。高知という地域性があるので、理念を明確にした学校づくりを行いPRしていくことが必要であるとも協議してまいりました。

今グローバル30という国際化を目指す大学30校を指定しています。その先端を走っている東大、早稲田大、その他国公立、私立大学が中心となっています。その中の話では、大学側が国際バカロレアを受け入れた成果も、受け入れ先をつくっていくことが大事であると回答が出されています。大学の方でその動きを加速していると思われまます。そういうご意見も私たちは協議してまいりました。

先ほど、西高関係者の方からも、同じ内容の多くのご意見を伺いましたが、このようなご意見からも私たちとしては、新中高一貫教育校となる学校に関しては、公募に寄せられた校名を見ても、多くの県民の皆さんから寄せられた校名に、先ほど述べさせていただいた内容を意味する多くの名称が見受けられています。また、こういった意味では、客観的に見たとき、1例として、国際やグローバルといった名称を付けている案が多く見られています。

また、先に行ったパブリックコメント、ここでも多くの県民の皆さまから、国際的な学校、グローバル教育、バカロレア教育に関して非常に高い関心と希望するご意見がありました。そして、開催された高知県グローバル教育シンポジウム、こちらにおいても多くの参加者が見られ、関心の高さを知りました。当日のパネラーの皆さんからも日本初となる公立学校での高知の教育改革への期待と希望を伺うことができました。

私たちが校名の絞り込みについて申し上げたいことは、新たな教育制度やスタイル、そこで学ぶ子どもたちの学校を考えた校名への絞り込みが望ましいと思っています。

その一つ、先ほど、本日この資料の2-1から次のようなことが伺えると思います。先ほど、数ということがあります

けれども、例えば現状の名称、両校の名称ですね、除きますと、件数で見ると複数、2以上見た場合に両校の名称が見られるような名前を除いたものですね、ないものにつきましては、約58%の他の校名が見られます。また、応募数が1の案を見ると、全体で約103分の76、これは約74%に及ぶ応募数が、全く新たな名前ということで期待をしていると、そういうことから県民の期待がものすごく伺えております。今回の公募からもやはり先ほど言いましたように、数多くの名称が出され、その校名案の意味や理由からも、新たな学校に対して県民が期待しているということは、非常に伺えるのではないかと考えております。

また、この公募ということであれば、考え方の一例として、新たな校名を着せるのが一般的ではないかというご意見もあります。けれども、先ほども西高さんの関係者からもありましたが、思いがやはりあるかと思えます。本校の関係者もまた生徒もやはり強い思いがあり、校名を残して欲しいという声もあり署名も行ってきたということは事実ではありますが、本校としても、また当該する学校としても、非常に私自身、胸を痛めているというところではあります。

その中で新中高一貫教育校は、この両校のよいところを取って、教育に対する内容を充実して、高知県における新たな学校としてスタートさせてはという思いがあります。新中高一貫教育校は、中高を6年間かけて人材を育て将来の高知を担う、また国際社会を担う役目となる学校となります。そこで、教育を受ける子どもたち、また高知の財産となることを考えると、第一に学校は現役の生徒の学校であることが望ましい。第二に学校は、これから入学を目指す中学生や小学生、また保育園児が将来高知や日本、また国際社会の中で夢や希望を自らが創造することのできる場であり、見える学校であること。第三に学校はこれから生まれてくる子どもたちへの学校であること。そしてその子どもたちが文化や伝統を構築していく場であって欲しいというふうに私は思っています。

大人として、先人としてこれから新たに目指そうとしている学校の名称を考える機会を人生の中で一度あるかないかというところではあります。私たちはその未来に向けて伝えることのできる学校を絞り込む必要があると考えています。高知に留まらず日本や国際社会に向けて私たち大人が今目を向ける必要があるというふうに思っています。一握りの伝統ということもありますけれども、伝統というのは単に過去を受け継ぐだけのものではなく、新たな創造や改革も取り入れながら、古き良きものと新たなものを融合し、築き上げることも伝統ではないかというふうに考えているところです。そして、高知また国際的な時代に先駆けた新たな教育を展開するに相応しい学校名なり、国際的な表記としても分かりやすく理解しやすい校名への絞り込みをお願いしたいというふうに思っています。

先ほど、校友会会長からもありましたけれども、校名の絞り込みについては、この委員会や教育委員会の中でもどのように絞り込み、その理由は何だったのかという形を私たち関係者、県民の皆さまにオープンにさせていただければというふう

会長	<p>に思います。具体的な絞り込み方法ということでは、今の答えにはなっていないかもしれませんが、絞り込みにあたっての考え方、そしてその絞り込み方法について、どのようにして欲しいのかというのは、今述べた内容でございますので、よろしくご検討のほど、お願いいたします。</p> <p>はい、ありがとうございます。 ただ今のご意見に何かご質問はありますか。 よろしいですか。大丈夫ですか。</p>
各委員	(特になし)
会長	それでは、どうもありがとうございました。

【校名候補の絞り込み方法について】

会長	<p>それでは、先ほどの学校代表者のご意見を踏まえたうえで、次の「(3) 校名候補の絞り込み方法について」、協議していきたいと思えます。</p> <p>まずは、事務局から前回の会議の協議事項に関して報告がありますので、報告してください。</p>
企画監	<p>資料の 22 ページをお開けください。資料 2 と上に書いてあります資料でご説明させていただきます。前回の会議の中でご質問がございました他県の絞り込みを行った後の候補数についてということでございました。</p> <p>前回の資料でご紹介しました他県の教育委員会が事務局となり、校名検討委員会を設置し、公募を実施したという事例が 24 校中 13 校ということの中で、委員による絞り込みの段階で 1 人 3 案又は 5 案を事務局に提出した結果、どれくらいの数の校名候補が上がってきたのかというご質問でございました。再度、他県に聞き取りし、調査しました結果をご報告します。</p> <p>一番上にございます 3 案を提出した 12 校の中では、委員が 7 人、それと 9 人と分かれておりますが、それぞれ 8 案から 16 案、それから 8 案から 17 案までが候補数となって挙がっております。</p> <p>次の 1 人 5 案を提出したのは 1 校でございましたけれど、7 人の委員が 5 案を提出した結果 25 案と多かったために、さらに 10 案に絞り込みを行っております。</p> <p>以上を第 1 段階の絞り込みとしますと、その後、第 2 段階の絞り込みを行いまして、最終的に校名候補を決定して、それを報告書に記載という形にしております。第 2 段階の絞り込みは話し合いによって行ったと聞いております。</p> <p>また、その報告書に記載する数としましては、一番右の列を見ていただきますと、上から順に、3 案提出の場合は 3 つを報告したというものが 12 校のうち 9 校となっております。それから、5 案を提出しました 1 校は、7 つの候補を報告というふうに聞いております。</p> <p>なお、ご質問にはございませんでしたが、参考までに話し</p>

	<p>合いで絞り込みを行ったという下の欄にございます 11 校につきましては、最終 1 つから 5 つまでを報告したというふうに聞いております。</p> <p>私からのご説明は以上でございます。</p>
会長	<p>今の事務局からの報告に何か委員の皆さんから質問ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(特になし)</p>
会長	<p>それでは、前回、疑問に思ったことについても調べていただきましたので、先に進めたいと思います。先ほど述べましたように、資料 3 - 1・2 につきましては、ご確認させていただきましたが、前回の第 6 回会議で確認しましたそれぞれの統合校の校名候補の絞り込み方法の大枠を前提として、順に協議していきたいと思います。</p> <p>まずは、2 つの統合校について一緒にやるのは困難だと思いますので、別々にやりたいと思います。</p> <p>高吾地域拠点校についてですが、これも前回の議論の際に、両校の協議の結果をお聞きして、ここで協議するというふうになっております。</p>
会長	<p>今お聞きいただいたように、高吾地域拠点校につきましては、須崎高校及び須崎工業高校ともに「須崎総合」というのを校名として希望されているというお話でございました。そこで、少し議論していただきたいのは、両校がこれと言っているのを削るといふか、外すといふのは考えられないわけですが、その 1 校名だけにするか、あるいはそれにプラスいくつか、ここの検討委員会で検討して加えて教育委員会に報告するか。この 2 つがあると思いますが、それについてご意見、それぞれお聞かせいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>私は、これからできる新しい須崎の高吾地域拠点校が、2 校が力を合わせてという意味を考えれば両校で話し合っていたいただいた名前が相応しいではないかと、個人的には思います。</p>
委員	<p>私もそのとおりに思っています。もともと最初の話でも、一番スムーズに行くのが両校の関係者の皆さんが一致して、これがいいねというのが望ましいということでしたので、そういう観点から言っても非常にスムーズな決定になるのではないのかなと思っています。</p>
委員	<p>私も同じくやはり両校ともせつかくここまでやってくれていますので、その地域の名前とかいうのも、両校ともやめてもらいたいということなので、やはり両校が話し合ったことを大事にしていった方がいいんじゃないかなと思います。</p>
委員	<p>私もそのように考えます。校名については、両校の思いというのも一致しているということで聞きましたので、そのよ</p>

委員	<p>うにすれよろしいのではないかなと思います。</p> <p>私も皆さんと同じです。須崎総合高校というふう決められて、質問させていただいたときに、この名前以外にほかに候補があったのかとお聞きしたときに、この1校だったということでしたので、両校がこの名前っていうふう決められたのなら、やはり両校の意思を尊重して、この名前がいいんじゃないかな。素敵な名前だと思います。</p>
委員	<p>私も同じ意見です。学校の方からの説明にもありましたように、普通科、そして工業、そして定時制といったところで内容の意味づけなんかもきちっと話された結果を持ってこういうふうになったことですし、あとちょっと行政的に心配なのは、もちろん叶うことだったらというようなこともおっしゃられていましたけれど、こちらの学校は、要は絞り込みができるかなというあたりの懸念もありましたが、お聞きして行って全くそのとおりだなという感想を持ちました。</p> <p>本当に、学校の方で両校で話し合っということが一番いいので、そして素敵な名前ですので、いいなと思ったことです。</p>
会長	<p>私も最も円満で、その地域で誇りを持てる名前ということで、両校が合意したというのを高く評価するとともに敬意を表したいと思います。私も、両校で相談していただいたものですから、それに加える必要はないという立場です。</p> <p>ということで、皆さん、この協議して提案された「須崎総合高等学校」の名前一つだけを県教育委員会に報告するということがよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>
会長	<p>ただし、決定手順としましては最終回、次回で決定することになっておりますので、一応今回は仮決定ということで次回に確認させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>
会長	<p>それでは続きまして、新中高一貫教育校について、協議していきたいと思います。</p> <p>前回の会議では、校名候補の組み合わせや2段階に分けて絞り込みを行なうなどの意見をいただきましたが、先ほどの両校関係者のご意見も踏まえて資料3-2の項目に従って、絞り込み方法について、協議・決定したいと思います。</p> <p>ただし、2-3に書かれている項目は少し荒っぽいので、項目としては、資料の3ページの参考資料となっております(3)校名候補の絞り込み方法について、アからオまで、前回、意見交換したと思いますので、これについて一つずつ協議して、決定していきたいと思います。</p> <p>一つ目は、候補同士の組み合わせ、要するに県民等からい</p>

	<p>ただいた校名の前半・後半、後半・後半とか、部分を組み合わせるという余地があった方がいいんじゃないかというご意見なり、いろいろ意見を交わしたところですが、これについて、これも早い者勝ちで全員にお願いしたい、ご意見いただけたらと思えますが。それともぐるっと回った方がいいですか。それとも手を挙げた方がいいですか。では、手を挙げてください。</p>
委員	<p>私はその組み合わせというのはやめた方がいいのかなと思います。せっかくいろいろ意見を書かれている部分を尊重した方がいいのではないかなと。</p>
委員	<p>私も前回に、これを組み合わせるのではなく、応募していただいた名前をそのまま考えて選んでいくということはいいいという意見を言いましたので、前回と同じです。</p>
委員	<p>端的に言って、私も前回と一緒にです。</p>
委員	<p>前回いらっしゃらない方もいらっしゃるかもしれないので、委員、具体をお願いします。</p>
委員	<p>前回と同じで、組み合わせではなく、公募の中から選んだ方がよろしいという意見です。</p>
委員	<p>私の方は前回、組み合わせも少し残しておいた方がいいのではないかということで、お話をさせていただいているんですけど、じっくりこの理由を読んでいてですね、校名と理由というところを見ていたときに、これだけたくさん出てきて、しかもしっかり理由がある中身なので、特に校名を見ても組み合わせでさらに新しいものができるとかいうようなことでもないような気がします。</p> <p>ですから、全体をしっかりと見たときにこの中から決めたらいいのではないかと思っています。</p>
委員	<p>すみません。時間を取っていただいてありがとうございます。私はそういう発言をしましたが、前回もそうでしたが、そういう気持ちがあったのですが、異議はありません。</p>
会長	<p>ありがとうございます。私もやはり非常に気分が高まったのは、理由のところを読むと、本当によく考えてくださっていると。これ4文字だから2文字ずつというのは忍びないというか、余りにもちょっと僭越かなという感じがして、組み合わせるというのはやめた方がいいというふうに思います。</p> <p>ということで、一応全員一致ということで、よろしいですか。</p>
委員	<p>特に違った発言をするつもりはないんですけども、前回欠席しておりましたて申し訳ございませんでした。</p> <p>皆様のご意見をお伺いして、なるほどなと思いましたので異存はございません。</p>

会長	<p>すみません、失礼いたしました。 それでは改めて、全員一致ということによろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了 承)</p>
会長	<p>では、次の項目に移りたいと思いますが、3ページのイにあります「絞り込み時の関係者の関与」ということで、これは須崎高校と須崎工業高校については、お話し合いをしていただくということでもう実施し、最終段階まで至ったということでございます。</p> <p>次に、ウの「絞り込みの際に何案提出か」というふうに書いてあるんですが、その前にここで決めなきゃいけないことがございまして、ものすごい数の中から次回協議によってある数に絞る。これを1段階選択制と言いましょか、それともう一つは、10幾つある中から適当な数、これは後で、もしそれをするなら大体協議したいと思うんですが、ある数に絞り込んで、それをもとに次回で議論して最終的な報告案をつくる。という2つの方法があるんですが、これについてはいかがお考えでしょうか。</p>
委員	<p>段階案がいいのではないかと。具体的に言えば2段階ですね。一定数を全体で絞り込んでおいて、その中で話し合いによって最終的に何案かを教育委員会に提案するというのがよいかと思います。これだけの数が出てきておりますので、望ましいのではないかと考えます。</p>
会長	<p>他に何かご意見はありませんか。よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了 承)</p>
会長	<p>それでは、2段階で選ぶということで決定させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>そうしますと、このウに関係するんですが、1段階目の選択のときに何案にするかと。1委員、何案を提案するかということになりますが、先ほど他県の例を見ますと3と5という、5は非常に少数なんですけど、そういう数がありますが、何も他県に縛られることはありません。4ということも十分ありますが、何かご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>正直難しいですけれども、3案がいいのかなと思っています。これをずっと読ませていただいて、やはり理由と校名をセットでこれだという絞り込みというのが重要で、大変責任がありますので、この校名にしたいなと、これが絶対いいなと思った校名を見たときに5案までであると、何かいろいろなものが入ってくるみたいなのところになってくるので、多分5案あっても3案ぐらいでやめたくなりそうな気がしますので、強い思いでやっぱり決めていくというようにしたいなと思っています。</p>

委員	<p>先ほど、学校関係者の方から1案でというすごくプレッシャーのあるようなご提案もあったんですけど、やはり全体を見てみまして、私も、逃げるわけじゃないですが、5案となるとちょっとあれなんで、3案ぐらいにさせてもらい、そこからまた皆さんの、何が出てくるか分かりませんし、どの校名を選ぶか分かりませんけれど、そこからということにさせてただいてはどうかと思います。なかなか1案というのもぐっときましたけど、ここは3案ぐらいにさせていただくとうかなというふうに思いました。プレッシャーをかけてみました。</p>
委員	<p>前回、私5案という形で言わせてもらいましたが、今日のお話を聞くとやはり3案。ただし、1案から3案ぐらいと幅をやった方がいいのかなという思いがあります。</p>
委員	<p>私も3案で結構だと思っています。ただし、3案としたときに、仮に私がこの学校の名前が一番いいと思って強く推薦する学校と、無理矢理あと2つくっつけるというのでは意味が違って来るように思うんですが、そのときにどうしても3案出すのか、3案以内とするのか、その辺は1回議論しておく必要があるのかなと思っています。</p>
委員	<p>委員が1案で「ばしっ」といけるような強い気持ちがおありなら、委員は1案でいいと思うんですけど。</p>
委員	<p>具体的に1案持つてるという意味じゃないですよ。仮にそうだったら。</p>
委員	<p>ですから考えられて、委員がおっしゃったみたいに、1案から3案というふうに幅を持たせてもいいとは思いますが、その辺は皆さんいかがでしょうか。</p>
委員	<p>そうですね、私もやはり3案以内ということでした方がよろしいかと思います。それぞれの理由を読んで一番最もしくりくるといふものを慎重に選んだ結果、どうなるかということだと思いますので、無理矢理3案を選ぶ必要もないと思います。</p> <p>5案というのはやはり多いですし、1案というのも大変、委員がおっしゃったようにぐっとくる案ではあったんですけども、やはりちょっとそれは責任が重いなというふうに感じますので、一度3案で絞り込みをしたうえで話し合いによって、また決めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>私も重複しますので3案以内でというふうに考えています。</p>
委員	<p>そうですね、3案と申しましたけど3案以内でいいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>それでは、皆さんのご意見は、3案以内ということで、ではこの場で提案する数は3案以内ということで、日本語で以内は入るんですよね。3案以内ということで絞り込みをしたいと思います。</p> <p>そうしますと、絞り込みの際の順位付けをするだとか、それから重みをつけるということは全く意味がなくなるわけですね。1個しか書いてない人は権利放棄というか何て言うんですか、他の重みを付けることに対しても意味がありませんし、そうすると順位付けというのはいらないということではないでしょうか。重み付けも順位付けもしない。そうしないと、今決めたことと矛盾してしまうと思いますのでよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(了承)</p>
<p>会長</p>	<p>そうしますとですね、絞り込みをして3案以内の案を推薦していただくわけですが、これを何らかの形で集計しなければなりません。日程的に考えますと、次回のこの検討委員会で最終結論を出さないと教育委員会での議論、その後の県議会への提案などを考えますと、もう1回委員会をやりましょうという時間的余裕がございません。</p> <p>一番問題がないのは、次回ここへ集まっていたときに提案していただいてその場で集計して、そしてその中から絞り込んで議論をするということが一つ考えられます。しかし、これは逆にちょっと問題点がありまして、この場でこういう候補が出ました。さあどれにしましょうかというのは、余りにも考える時間がなさ過ぎるということで、もう一つのやり方として、こういうやり方があるかと思えます。</p> <p>次回までに事務局に案を出していただいて、それを事務局が集計して原本と集計表を私が確認してOKにするというやり方があります。それから2案としては、次回までに同じように提出していただくんですが、その開封も私が立ち会いでやるというやり方があると思うんですが、どちらも私が立ち会うということになるので本質は余り変わらない。集計した後のチェックを私がするので、開けるものまで私が立ち会わなくてもいいかなということでご提案申し上げたいのは、次回までに事務局に提出していただいて、事務局で集計したものを私が確認して、皆さんに結果をお送りするというふうにしたいと思うんですが、よろしいでしょうか。</p> <p>何かそれに対してご意見ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>それに対する意見ではなくて、それが一番適当だろうと思っています。</p> <p>22ページの資料2にも、13校の例が記載されていますけども、やはり事前に事務局に提案して集計したものを検討しているということですので、それが一番公式的かなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、そうやって事務局に案を出していただくということにしたいんですが、このときに無記名にするか記名にするかということをご決めておきたいと思います。基本的</p>

	<p>にどなたがどのような名前を推薦したかというのは余り知られたくないというか、プレッシャーがかかると思います。委員のお考えを率直に出していただくためには、そういうプレッシャーがない状態でやった方がいいと私は考えておりますが、この点何かご意見はありますか。いや、記名でいいのではないかとか。</p>
委員	<p>正直なところ私はどっちでもいいなというふうに思っています。例え無記名だとしても、ここで議論をして主張なりすると、もうばれればなところがきっと出てくると思うので、別に無記名にする必要もないような気がしますし、プレッシャーがないという意味では無記名も気は楽かなという気もいたします。私はどっちでもかまいません</p>
西尾委員	<p>確認ですが、仮に記名した場合に誰がどの学校の名前を提案したか、推薦したかということまで資料化されるということですか。</p>
会長	<p>すみません、私の説明が悪くて。2つの場合がありますして、記名なり何なりで推薦していただいても、集計した段階で名前を消すということは無記名になるんですね。皆さんにお送りするときは、私がチェックしてこの学校の名前を挙げた人が何人ですという一覧表を作った時点で、もう皆さんの委員の名前は載らない。その代わり、どういう分布になっているかというのは分かる。これは記名にしても実際には公になるのは無記名ということになります。そういう意味合いなんです。</p>
委員	<p>それでよろしいんじゃないでしょうかね。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>
会長	<p>そうしますと、非常に事務的にも簡単でして、メールか手紙で提案していただければ、それで集計をあらかじめやっていただいて、私がチェックするということができますので、そういう方法でよろしいでしょうか。 事務局としてはメールと手紙とどちらがよろしいでしょうか。</p>
企画監	<p>どちらでもよろしいですが、メールであれば迅速かと思えます。</p>
会長	<p>ただし、メールはメンバー全員にいくようなアドレスですと、少し問題だと思うので誰か個人のアドレスか何か、1人あるいは2人ぐらいにしかアクセスできないようなアドレスってあるんでしょうか。</p>
企画監	<p>全員ではないですね。</p>

会長	高等学校課やあるグループごとに、よく県から来るのはどうなっているのか。
企画監	発信がですか。
会長	いや、来るメールのアドレスがグループごとのアドレスで来ますよね。そうすると、我々がそこへ発信するとそのグループの人みんな見るわけですよね。
企画監	それは、個人ごとで発信すればいいのでできます。
会長	違う違う。受ける方のメールのあり方を聞いている。
企画監	受ける方が個人宛に送れるようにすればいいんですけど、ただ、個人アドレスに送れない方も中にはおられますので、全員がメールというのは難しいです。
会長	いやいや、話がちょっとずれている。私たちがメールを送るときに、例えば坂本さんのメールアドレスに送るような形にしていただかないと、グループが持っているメールアドレスだと何人もの人が目につくことになるのでということである。
企画監	それは大丈夫です。
会長	それはできるわけですね。
企画監	できます。
会長	分かりました。そしたら、このことについてはすぐこのまとめをやりながら対応をお願いします。
企画監	先ほど私が言いたかったのは、委員さんの中で個人メールから発信できない方がおられるということです。
会長	だから基本はメールでやるけれども、そういう不都合の方には手紙でやっていただくということで、よろしいでしょうか。 大体のことで日程的にはいつごろになりますでしょうか。
企画監	次回の日程について後でお知らせもするんですけど、できましたら 11 月 1 日ぐらいには出していただけたらと思います。
委員	ちょっと早くないですか。もうちょっとほら役所の都合じゃなくて、私たちの気持ちも考えてもらって、譲れる範囲でどの辺ぐらいでしょうか。

教育長	我々はどちらでも構いませんが、1日でどうでしょうかと申し上げたのは、集計した結果をなるべく早めにお返しをすると、次回までに集計した結果で考えていただく時間が取れるのかなということ、1日くらいでどうかなというふうに提案させていただきました。
委員	集計のお返しは、例えば私たちに一人一人に来ることなのか、会長一任で見ていただいて、チェックをするかによっても随分違うかもしれませんし、その辺りはどうなのでしょう。
会長	先ほど申し上げたように、集計結果については、私が責任持ってさせていただきますので、それで集計した結果については、委員の名前を外してこういう高校名に3人がいいと言っていますとか、そういうデータを早めにお送りして、それをもとに次の委員会でさらに絞り込まなくてははいけませんので、そのお考えをまとめてもらう時間が必要ではないかと考えているんですが。
委員	やはりその絞り込まれた中から、さらにどう絞り込むかっていうところが大変難しいと思うので、その検討に十分な時間をかけたいと思うので、1日ぐらいで何とか出してですね、そのとりまとめの結果をじっくりと検討する時間が欲しいかなというふうには思うんですけども。
委員	その集計されたものの取り扱いなんですけども、仮にA高校が5人とかB高校が4人とかっていう数が出た場合にですね、数が多い方が優先順位が高いというふうにするのか。あるいはそうではないと。やはり数ではなくてもう一度フラットな状態から検討するようにするのか。そういうのを確認しておかないと、イメージとして数が多くなるとそこじゃないかみたいになりかねない。
会長	基本的にこの校名を決める最初から、私たちのこの検討委員会のコンセプトは数ではないというコンセプトなので、数は参考には書きますけれども、数が多ければそれが有力な候補名だというふうには皆さまも理解されていないんじゃないかと、私自身はそう思っています。いかがでしょうか。これについては。
各委員	(了承)
西郷会長	よろしいですか。皆さんが考えていただくのにも、多少は参考になるかも知れませんが、何人が推薦したというのは出しますが、ある数のところまで切った中から数に縛られずに最も相応しいものを議論して、複数あるいは一つに決めるということよろしいでしょうか。
各委員	(了承)

<p>会長</p>	<p>そうしますとですね、絞り込むときに大体いくつぐらいを目安にするかっていうんですけど、これはやってみないと分からないんですね。一応、段差ができたところで切らざるを得ないんで、一つの目安として 10 前後とか 15 前後、先ほどの他県の例を見ますと 10 から 15 辺りで 1 回目絞り込んでいきますので、その辺を目途にして段差がその間にあれば、そこで候補を決めるというのが一番、いくつって決めない方がいいのかなという気がするんですが、いかがでしょうか。</p> <p>それについて、何かご意見ありますか。はい、どうぞ。</p>
<p>教育長</p>	<p>他県の例ですが、第 1 段階で絞り込みを行ったというのは、1 人 5 案を出して、第 1 段階でその 5 案を出した結果 25 が挙がってきたのを 10 に絞ったというのがありますけれども、それ以外は、もう基本的に 3 案を出していただいて、それで出てきたものはそのまま第 1 段階の結果ということでやられているようです。</p>
<p>会長</p>	<p>ということですね。私が申し上げたいのは、10 から 15 くらいのものから絞り込むというのは議論の中でできますけれども、これが 20、25 となると議論しにくいかなというふうに思うので、ある数のところで段ができたというふうに思うんですが、7 人が 3 校ずつ書いて全員がばらばらでも 21 なので、そんな心配は要らないかなと、現実的にはですね。重なるご意見も出るでしょうから。</p> <p>一応、例えば、そうですね、ばらばらで 21 なんだから、名前が挙げた学校は全部あげるということが一番単純ですね、確かに。そう思います。すみません、今ごろになって。</p> <p>そういうことでよろしいですね。21 ばらばらでも 21 校、もしかしたら 3 つ書かない方もいらっしゃるれば、もっと減るわけですから、じゃあ名前の挙げた校名については、全部報告すると、皆さんに。</p> <p>そうすると、票数なんて要らないかもしれない。</p>
<p>委員</p>	<p>まあ、そうですね。ない方が数に影響されないで済むかもしれませんね。</p>
<p>会長</p>	<p>それちょっと議論してください。いかがですか。一つの考え方としては、分布を見るうえで数があった方がいいという立場と、いやいやもう数にとらわれないんだから、マックス 21 なんだから、もう名前が挙げた学校はあいうえお順か何かでざっと並んでいるっていうリストを皆さんに結果ですと報告をする。どちらがよろしいでしょうね。</p>
<p>委員</p>	<p>7 人でそれぞれ出し合って、確かにばらばらに 1 校なら、21 出るかもしれませんが、そうでない場合、例えばじゃあこのみんなで話し合って教育委員会に 3 案、もしくは何案かを決めるときに、フラットな状態で議論をするのか、やはり 7 人は 7 人なりのかぶり方というのものもあるかもしれないですよとするのか。この案にこの委員が 3 人賛同したとかですね、2 名賛同したとかいうようなこともあるかもしれないので、</p>

	<p>そのときにやはりある程度、その目安があっても構わないんじゃないだろうかというふうには思います。全てフラットで羅列を見るというのも一つだとは思いますが、数字が出て私は構わないというふうに思います。</p>
会長	<p>分かりました。その点についていかがでしょうか。</p>
委員	<p>委員が言われたとおり、見えてもいいのかなど。全部多いのは皆さん思うと、やっぱりここもそういう場的にこれくらいありましたよみたいな感じで、公開した方が反対にいいのかなと思います。全部で21あったら21校の名前を出す。その中でこうだよというふうな話し合いというのは見せた方が情報公開的にはいいのかなというふうに思います。</p>
西尾委員	<p>特にどちらがということではないんですけど、非常に気になっているのが最終的に3案なり5案なり教育委員会に推薦するときに、その決め方ですよ。</p> <p>まずは話し合いをすると。この学校はこういうことだからいいよね。それに皆さん賛同しませんかというような話し合いになるんだろうと思うんですけども、そのうえで、極端なことを言えば21案の中から3案を絞り込む。それはだから単純な話し合いだけでは難しいのかなど。</p> <p>その際に、例えば最終的にじゃあ投票にするのか、どうするのか、そういうところを少し前もって議論しておかないと、最終的な段階で混乱してしまうおそれもあるかもと心配します。</p>
会長	<p>そのことについては、後ほどご意見を伺って議論したいと思います。</p> <p>そうしますと、何か私の意見が右往左往しているんですけども、数を入れて皆さんにお知らせをしいんじじゃないかというご意見が多いようなので、そういうふうにするということではよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>
委員	<p>それはそれでいいと思います。それでですね、この校名を選んでいくときに、理由というのは大事だと思いますが。</p>
会長	<p>理由はこの後協議しようと思っていましたが、単にこの校名がいいんですと言って校名だけを意思表示したのでは不十分じゃないかというのが前回の議論でありまして、なぜそれを推薦するのかとか、そういうことを書いて推薦した方がいいんじゃないかという意見がありました。この件についてはいかがいたしましょうか。</p>
委員	<p>最終的に教育委員会の方に最終のものを出すときに、結局ここで議論したことを文章化していくわけなんですけれども、ここに書かれている理由というのを読んでいて本当につくづくそうだなと思いながら読ませていただくのですけれど</p>

	<p>も、若干最終決定するときには、補足したい部分もあったり、それから長すぎてもうちょっとコンパクトにしてしまいたいというものもあったりする。</p> <p>いろいろあるので、このとおりでなくて、ここで議論をしていくもとの、なぜこれを選んだかということははっきりさせながら、したいなという気がしていたものですから。</p>
会長	<p>それでは、一応推薦理由をお書きいただくということで進めたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>
会長	<p>そうしますと、今までのことをもう1回おさらいしたいと思います。</p> <p>まず、候補同士の組み合わせはしない。それから絞り込みの場合は3案以内。それから順位付けとそれから重み付けはしない。それから皆さまに第1段階の絞り込みをやった結果をお送りするときは、得票数というか推薦者数を添えて、どなたが書いたかというのは分からない一覧表にしてお送りする。それでお考えいただくということによろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>
会長	<p>そうしますと、いよいよ最後の段階で、そこからまた絞り込まなくてはいけないんですが、さっきご質問のあったように、じゃあ最終的にどういう手法で絞り込みをするのかというのも、一応ここで、議論をいただいて、その議論の内容のメモも一緒にそのときに送るように事務局にお願いをして、次回の冒頭で決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>
会長	<p>何かそれでは、最終案、複数の案という表現にしかなくなっておりませんが、大体いくつぐらいを目途に考えたらいいか。あるいは全部真っ平らで、21からある数に絞るというのは非常に難しくなって、深夜に及んだときにどういうふうにするかというのをここでご意見をお聞きしときたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>すみません、ちょっと分からなかったのですが、その21の中からいくつにするかということですか。</p>
会長	<p>ひとまずの目安としていくつにするか。ということをご議論しておいて、最終的には次回の冒頭に検討したいと思うんですが。これをしておかないと、皆さんが推薦した結果を見たときに、どういうふうに自分はまとめていったらいいかって分からないので、一応いくつぐらいという目安を本日議論しておいて、次回に最終決定すると。</p> <p>それから、意見が割れていつまで経っても目安とした数が決まらないときにはいったいどうするのか。その最終的な決</p>

<p>委員</p>	<p>める手法についてご意見があれば今日おっしゃっていただいて、次回に決めたいと思うのですがいかがでしょうか。</p> <p>まずはいくつって、さっきの3つ以内にしたように限りなく少なくしていきたいというのがあります。これだけ委員さん方も聞いていただいて、ずっと絞り込みをかけていくという作業の中で、最終的に10も12もあるとこれは大変だと。次の委員会でもまた大変になるかと思うので、やはり検討させていただいて、議論もこれからさせてもいただいて、もしかしてその21もなくて最初から3つとかになっても、そこからまだ絞り込めないかという議論はしたいという気がするんですね。</p> <p>多かったらもうぐっと、やっぱり議論を重ねる中でそんなにばらばらにならない気もしますが、どうしてもこれだけは残したいねというところを考えて、できるだけ絞り込みたいと。できたら、もうその5つ以内とか3つ以内とかですね、限りなく少なくしたいという気はします。</p>
<p>委員</p>	<p>絞り込み方はなかなか難しいとは思いますが。議論の中で言うことですが、数としてはやはり我々この校名検討委員会で、校名を検討するという事は、ある一定の数にしないといけないんじゃないかと。出たのをそのまま10幾つをどうぞだと、それは何の役にも立ってないので、ただ前回、議論があったようにその出方によって、3と決めていたら3しかない形はちょっとどうかと思います。</p> <p>だから、私は3から5の間で、あまり多いのも難しいと思うので、3から5の間で議論していく中で決めていったらどうかというような気持ちでおります。</p>
<p>委員</p>	<p>私も賛成です。大体3から5ぐらいのイメージかなと思っています。当然、ここで議論するわけですが、最終的にその3から5になかなかできないんだらうかなと思っているんですね。それぞれ皆さん思いもおありでしょうし、そういうことからすれば、最後は結果的に投票になってしまうのかなという気はします。</p>
<p>委員</p>	<p>私も委員のおっしゃったことに全く同じでして、絞り込みを1回、第1段階でしてみないと、どのぐらいの数になるかということもそもそも分かりませんので、今の時点で確実に3とか確実に5というのは無理だと思うので、3ないし5という形で、できるだけ絞り込みをかけると。議論がやっぱり尽きないということ、夜中になるとおっしゃいましたが、それはちょっと困るので、最終的には投票かなという感じはしますが、できるだけ話し合いでまとめるというふうにしていきたいとは思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>それでは、ご意見というか次回の冒頭に最終的に決定しますが、皆さんに第1段階の絞り込みの結果をお送りした中か</p>

	<p>ら考えていただくのは3から5を考えていただくということですね。</p> <p>それから、最終的には議論が平行線で決まらないときには、何らかの投票形式のものを取り入れるということによろしいですか。</p>
委員	<p>今会長が冒頭で決めるというふうにおっしゃったんですけれども、やはり絞り込みを第1段階でしたあとに、議論をしてみないと3になるのか5になるのかというのは、ちょっと分からないようなところもあるような気がしまして、そこは冒頭で決めなくても議論の中で決めていってもいいのかなという気がするんですがいかがでしょうか。</p>
会長	<p>おっしゃるとおりです。歯止めをかけておかないとじゃあこれも、4と5の間、5と6の間にしましょうか。これが平行線になったときには、じゃあ6まで入れましょうと。そうすると、7のところの人がいや、6を入れるなら7も入れていいんじゃないのという議論になりがちですので、何かやはりある程度、ガイドラインを決めておいて議論を通して、じゃあ3にしましょうとか5にしましょうとか4にしましょうというふうにしておくことが必要です。ですから3から5という数字が適当かどうかは、そういう歯止めにするということと、皆さんにお送りしたデータから考えていただく数の目安としてということで、ほんとに3から5がいいのか、もう一度ちょっとご意見をいただきたいと思いますが。</p>
委員	<p>私たちの提案も1から3ですよ。やはりそれぐらいの幅でやらないといけないのかなと。私たちも本当にこの校名でという思いは、皆さん一緒ですので。ぜひ3から5でやっていただきたいと思います。</p>
委員	<p>このことに関してではないんですけど、先ほどの校名をお送りする件ですけど、やはり11月の1日で決まったのかどうか、それがまずあります。何かやっぱり決めるとすごい責任があるので、1日でもあれば、それは助かるんですけど。先ほどちょっと、議論があれでしたので、11月の1日までにお送りするということでしょうか。</p> <p>そこも決めていただいたら決めたとおりにいたしますけど、ちょっと他には日が出ていなかったと思うので。</p>
会長	<p>無理をお願いしますが、1日にしていただけませんでしょうか。</p>
委員	<p>頑張ります。</p>
会長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>確認させていただきます。1日までに送っていただくということになれば、会長に確認していただいて、委員の皆さんにお送りできるのは2日辺りが目途かなというふうに思っ</p>

会長	<p>おります。ということをご了解いただきたいということと、もう1つ、そのことについては、基本的に委員さんに検討いただくためにお送りするということに留めさせていただいて、一般に公表するという形は第8回目の会ということにさせていただいた方がいいのかなと思っております。</p> <p>部内秘で送ってください。</p> <p>一応私がメモしてきました議論しておかなくてはならないことは終わったと思うんです。何か事務局の方で議論し残しはありますでしょうか。気がついたことはありますか。</p>
企画監	特にありません。
会長	<p>それでは、委員の皆さま、何かお気づきの点、ご提案がありましたらおっしゃっていただきたいんですが。はいどうぞ、稲田委員。</p>
委員	<p>念のため、一応その事務局からメールを送っていただいて、それに返信する形で提出をさせていただきたいと思うのでよろしくをお願いします。</p>
委員	<p>すみません、メールを送るときに一度電話をしてもらいたいと思いますが、構いませんでしょうか。</p>
企画監	はい。
会長	<p>それでは、本日の協議内容は以上で終了となりますが、その他、委員の皆さまのご意見もないようですので、事務局から連絡事項をお願いいたします。</p>

【その他・事務連絡等】

企画監	<p>次回の日程でございます。25ページにスケジュールがございます。第8回は11月上旬というふうに書いておりますが、11月の8日の火曜日、時間は同じく18時30分から場所も同じくこの共済会館のこの部屋というふうに予定しております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。委員の皆さまよろしく申し上げます。立て続けで大変申し訳ございません、よろしく申し上げます。では、進行を事務局にお返しします。</p>

【閉会】

司会	<p>会長、会の進行、ありがとうございました。また、委員の皆様、熱心な議論をありがとうございます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第7回高知県立学校の校名に関する検討委員会を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>
----	--